

インドネシアにおける自然災害対策

インドネシアにお住まいの皆様・滞在予定の皆様へ

- 本資料は、当地における自然災害対策として、事前の備えや自然災害発生における対応等をまとめたものになります。
- インドネシアは、日本と同様、「地震」・「噴火」・「津波」・「大雨による洪水・地滑り」が国内各地で発生しています。
- 本資料のほか、インドネシア防災庁(BNPPB)・インドネシア地方防災局(BPBD)・インドネシア気象気候地球物理庁(BMKG)等の機関が災害情報等を発信していますので、報道を含めて情報収集に努めてください。

インドネシアの災害発生状況

災害種別

地震	11件
噴火	4件
洪水	1, 166件
大雨	421件
森林火災	361件
地滑り	172件

各種災害による被災者

死者	316人
行方不明者	29人
負傷者	522人
避難者	4, 716, 757人

インドネシア国家防災庁(BNPB)の統計発表データ
(2025年1月1日から同年8月13日までの間)

2025年中の主な災害

- ジャカルタ大洪水(3月4日)
数千人が避難
- レウォトビ・ラキラキ山の大規模噴火(フローレス島)
定期的に大規模噴火しており、今年6月、7月の噴火では、バリ島等の航空便の発着に影響あり
- バリ大洪水(9月10日)
死者14人、被災者600人

過去のインドネシア大規模災害

- 2004年12月26日 スマトラ島沖地震及びインド洋津波被害
マグニチュード9. 3の地震により、津波も発生し、多数の死傷者が出了ました。
- 2021年12月4日 スメル山大規模噴火(当館管轄地域: 東ジャワ州南部)
この噴火に伴い、火碎流の発生や推定数千メートルの噴煙により、死傷者の発生や航空便等の交通に影響が生じました。

1 災害に対する事前の準備

(1) 災害発生時の家族間・職場間の連絡体制の確認

ア 連絡先の保存方法

家族等の連絡先について、その全てを携帯電話のみに保存している場合、万一電池切れ等で使用できなくなつた際に連絡が困難となりますので、家族、職場、学校、友人・知人の連絡先(携帯電話(携帯電話、Eメール等)をメモしておくことをお勧めします。当館の連絡先(最終ページに記載)もあわせてメモしておいてください。

イ メッセンジャーアプリ等の活用

職場等においては、緊急事態等が発生した際、安否確認等がスムーズに行えるよう緊急連絡網を整備しておいてください。メッセンジャーアプリ(WhatsAppやLINE、Teams)のグループ登録を利用すると便利です。

ウ 集合場所の確認

災害時には通信が遮断され電話やメール等が機能しなくなる可能性もあります。このような場合に備えて、家族や職場間で緊急時の集合場所を話し合っておいてください。

エ 留守宅家族・本邦親族との連絡先共有

住居地や勤務地のほか、旅行先や出張先で自然災害等の被害に遭遇する可能性もあります。自ら連絡できない事態となつた際に、報道などから災害を知った家族が安否確認や搜索依頼などできるよう、住居地のほか、出発前に日程や滞在場所等について留守宅の家族や本邦の親族などと共有しておくことが大切です。

(2) 備蓄品・持ち出し品の整理

ア 備蓄品の容量

災害による停電・断水などのライフライン断絶や、飲料水・食料品・燃料の不足等に備え、ご自宅内には緊急的な備蓄品を備えておいてください。ご家族全員が10日間程度生活できることを想定した食料品、飲料水の確保が推奨されています。

イ 備蓄品の内容

備蓄品の維持管理として、缶詰類は高温多湿を避けて保管する、紙箱に包装されたものは密閉できるプラスチックや金属製の容器に詰め替える、避難時にすぐ持ち出せるようリュックサック等に入れて保管する。

ウ 緊急避難時の持ち出し品

緊急避難時の持ち出し品は家族の人数分を用意する必要があります。あまり重すぎると避難する際に支障となる可能性がありますので、一般的には、リュックサックなどに入れる重さの目安は、男性で15キロ、女性で10キロ程度で、家族全員が3日分程度生活できる分が推奨されています。職場にも、最低24時間待機することを想定した緊急時必需品(備蓄品)を保管しておくことをお勧めします。

エ 備蓄品等の定期的な確認

備蓄品や緊急避難時の持ち出し品のリストについては、少なくとも年1回は見直すことが必要です。特に医薬品や食料の使用期限を確認し、必要に応じて補充するなどしてください。

(3)情報収集の方法

ア 情報収集の媒体

自然災害に備える、自然災害が発生した際は、情報収集が重要です。インターネット・テレビ・新聞・ラジオ等を通じて情報収集に努めてください。

イ 外務省からの情報

各館のホームページ、領事メール(在留届又はたびレジ登録の提出が必要)、外務省海外安全ホームページ等においても、災害時における情報を発信しています。

ウ インドネシアにおける自然災害に関する情報は、主にインドネシア国家防災庁(BNPB)・インドネシア地方防災局(BPBD)・インドネシア気象気候地球物理庁(BMKG)のホームページ・アプリ・インスタグラムで確認することができます。

2 自然災害発生時の対策

(1) 地震・津波

- 地震による大きな揺れを感じた際は、建物内であれば、机の下等身の安全確保し、屋外であれば建物等から離れた場所で鞄等で頭を守るなどして身の安全を確保する。
- 建物内の場合、揺れが収まった後に外に脱出できるよう、可能であれば玄関扉等を開けておく。
- 調理中の場合、可能であれば、すぐに火を消すようにし、火災の発生を防止する。出火していた場合、鍋にふたをし空気を遮断して火を消したり、シーツやバスタオルを濡らして出火元にかぶせることも有効。
- 揺れにより棚などが倒れてこないよう固定しておく。特に就寝時に地震が発生する可能性もあることから、寝室の環境を確認しておく。
- ショッピングモール等の商業施設や不特定多数の人が集まる場所では、周囲の状況をよく確認しながら避難する。特に出口部分が狭い場合、多数の人が殺到し、圧死等の二次災害に遭う可能性が高くなることから十分注意する。
- 大きな揺れを感じ、かつ海辺にいる場合には、すぐに高台に避難する。
- 基本的には、徒歩でより高い安全な場所への移動が勧められるが、交通渋滞の可能性がなく、高台等がない場所の場合には、車で遠くに避難するようにする。
- 地震が発生した際は、インドネシア気象気候地球物理庁(BMKG) <https://www.bmkg.go.id/> やアメリカ海洋大気庁が運用している太平洋津波警報センター(PTWC) <https://www.tsunami.gov/> のなどのサイトから津波の発生の有無について確認する。

(2) 火山噴火

- インドネシアには、活火山が多くあり、近年も噴火を記録している山もあることから、登山・観光を含め、同地域及び周辺を訪れる際には、火山活動に関する情報をインターネット、新聞、テレビ等から収集する。
- インドネシア火山地質災害対策局(PVMBG)<https://vsi.esdm.go.id/>やインドネシア防災庁(BNPB) <https://www.bnpb.go.id/>・東ジャワ州地方防災局(BPBD JAWA TIMUR) <https://web.bpb.jatimprov.go.id/>のサイトを活用する。

(3) 豪雨災害・土砂災害

- インドネシアでは、概ね10月から3月までの期間が「雨期」となり、各地で大雨による豪雨災害や土砂災害が発生する可能性が高い。
- 車両乗車中に冠水箇所を発見した場合、車両で通過することなく、冠水場所を迂回するよう運転手に指示する。特にアンダーパスなどは、目視以上に冠水している可能性が高い。車高の高い車でもエンジン内が水没する可能性や、車体の半分でも水没した場合、水圧でドアの開放が困難となる場合がある。
- 冠水により地面の状況が見えにくくなり、路面にある穴や排水路などを判別することが難しくなることから、徒步による不要不急の外出は控える。
- 山間部及び周辺を訪れる際には、天気予報等による雨の情報を事前に把握する。山間部を走行する際は、「走行中の道路の水が茶色く濁っていないか(斜面の土を含んだ水が流れていないか)」、「道路脇等で地盤の緩みは見られないか」などを確認し、土砂崩れや地滑りの発生に注意する。
- インドネシア気象気候地球物理庁(BMKG)のホームページで、大雨等の注意報の状況、雨雲レーダー等で最新情報を入手する。

インドネシア気象気候地球物理庁(BMKG)のホームページ

SELASA, 7 OKTOBER 2025

STANDAR WAKTU INDONESIA 13 : 19 : 57 / 06 : 19 : 57 UTC



BADAN METEOROLOGI,
KLIMATOLOGI, DAN GEOFISIKA

Profil Cuaca Iklim Kualitas Udara Gempa Bumi Geofisika

Contact Center 196

天候 気候 大気 地震

Cuaca Saat Ini

Saat ini

Hari ini

Besok

Lusa

Lihat Semuanya →



Peringatan Dini Cuaca Maluku

7 Okt 2025 pukul 14.30–17.30 WIT: Berpotensi terjadi hujan sedang hingga lebat disertai petir dan angin kencang di beberapa wilayah Maluku. [Selengkapnya →](#)



地震



Gempa Bumi

Informasi gempabumi, tsunami, mitigasi, dan seismologi teknik.

GEMPA BUMI-TSUNAMI

[Gempa Bumi Terkini](#)[Gempa Bumi M 5,0+](#)[Gempa Bumi Dirasakan](#)[Gempa Bumi Real-time](#)[Gempa Bumi Berpotensi Tsunami](#)

MITIGASI

マグニチュード5.0以上の地震
震度
リアルタイムの地震状況
津波の発生可能性

GUNCANGAN GEMPA BUMI

[Ulasan Guncangan Tanah](#)[Peta Isoseismal](#)[Skala MMI](#)

06 Oktober 2025

Bangun Masyarakat Tangguh Bencana, BMKG Hadirkan Sekolah Lapang Gempabumi di



Defile HUT ke-80 TNI

[Baca selengkapnya →](#)

01 Oktober 2025

BMKG dan Telkomsel Ekosistem Digital



Terkini

M 5,0+

Dirasakan

Berpotensi Tsunami

Real-time

津波の可能性なし
(Tidakとの表示の場合)



インドネシア火山地質災害対策局(PVMBG)のホームページ



Berita Terbaru

ARAPI, SUMATERA BARAT TANGGAL 29 SEPTEMBER 2025

Laporan Pemeriksaan Gerakan Tanah di Kecamatan Jatigede, Kabupaten Sumedang, Provinsi Jawa Barat



Profile

Gunung Api

Gerakan Tanah

Gempa Bumi Dan Tsunami

Layanan Publik

Hubungi Kami

Laporan Khusus

Search



火山

土砂災害

地震・津波



Magma Indonesia



Download Peta KRB



Lapor Bencana



プライバシー・ポリシー

活火山の状況(前項ホームページを下にスクロール)

Profile

Gunung Api

Gerakan Tanah

Gempa Bumi Dan Tsunami

Layanan Publik

Hubungi Kami

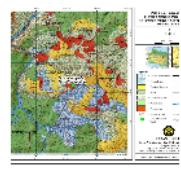
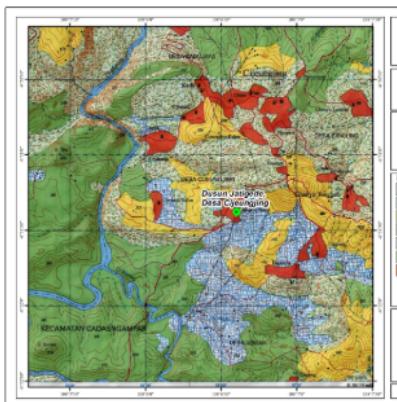
Laporan Khusus

Search



Terbaru

Tanggapan Kejadian



Laporan Pemeriksaan Gerak...

06 October 2025 | Syegi Lenarahmi Kur, Kunrat S.Si., M.Sc.

Keterangan:

● Level IV (AWAS)

避難行動

● Level III (SIAGA)

警戒

● Level II (WASPADA)

注意

● Level I (NORMAL)

正常

Laporan Pemeriksaan Gerak...

06 October 2025 | Syegi Lenarahmi Kur

Bersama ini kami sampaikan hasil pemeriksaan lapangan bencana gerakan tanah di Kecamatan

活火山の状況（正常以上）

Status Gunung Api Atas Normal

Dengan tanggal pemantauan terakhir

● Ili Lewotolok	SIAGA	07-10-2025
● Lewotobi Laki-laki	SIAGA	07-10-2025
● Lokon	SIAGA	07-10-2025
● Merapi	SIAGA	07-10-2025
● Anak Krakatau	WASPADA	06-10-2025
● Awu	WASPADA	06-10-2025
● Banda Api	WASPADA	06-10-2025
● Bromo	WASPADA	06-10-2025
● Bur Ni Telong	WASPADA	06-10-2025
● Dempo	WASPADA	06-10-2025



プライバシー 利用規約

緊急時備蓄品・持出品のチェックリスト

【緊急時備蓄品】

□ 非常用食料等

家族が当分の間(1週間程度)飲食できる飲食料。米、調味料、缶詰類(及び缶切り)、インスタント食品、粉ミルク等の保存食及びミネラル・ウォーター(一人あたり1日3リットルが目安)等。自宅から他の場所へ避難する際には、この中から缶詰類、インスタント食品、粉ミルク、ミネラル・ウォーター、大型の水筒等を携行

□ 医薬品

家族用常備薬の他、常用薬、外傷薬、消毒用石けん、衛生綿、包帯、絆創膏等、生理用品
感染症対策物品(マスク、手指消毒用アルコール、ウェットティッシュ、体温計)

□ ラジオ(ラジオジャパン、BBC、VOA 等の短波放送が受信できる電池仕様のもの及び予備電池)

□ 携帯電話用充電器、ソーラー充電器

□ 衣類、着替え(長袖、長ズボンが望ましい。動きやすく、麻、綿等吸収性、耐暑性に富む素材が望ましい。)

□ 履物(動きやすく靴底の厚い頑丈なもの)

□ 洗面用具(タオル、歯磨きセット、石けん等)

□ その他

懐中電灯、ライター、ろうそく、マッチ、ナイフ、缶切り、紙製の食器、割り箸、固形燃料、簡単な炊事用具、防災頭巾(頭をカバーできるもの)、緊急連絡先リスト(住所、電話番号)、市販されている居住地の地図等。

【緊急時持出品】

□ 旅券(パスポート)

6ヶ月以上の残存有効期間があること。

□ 現金

家族全員が当分の間(2週間程度)、生活するのに必要なルピア貨(少額な額面を含む)
外貨(米ドル、日本円等)も用意しておく。

□ カード類

キャッシュカード、クレジットカード等

□ 貴重品(貴金属、預金通帳、クレジットカード等)

日本で使用する預金通帳、印鑑、保険証、免許証

在スラバヤ総領事館からのお願い

在留届・「たびレジ」登録のお願い

治安情報や自然災害情報のほか、当地における当総領事館からの安全情報や外務省から発出される「海外安全情報」は、「在留届」や「たびレジ」に登録されたメールアドレスに送信しています。当地に3ヶ月以上お住まい(予定)の方は在留届の提出(原則オンライン)、また、当地に観光や出張で短期間の滞在を予定している方は「たびレジ」の登録をお願いします。

- ・外務省オンライン在留届 <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/index.html>
- ・外務省たびレジ登録サイト <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/index.html>

緊急連絡先

自然災害が発生した場合、災害の規模や被害の状況によっては、「在留届」・「たびレジ」に登録された皆様の緊急連絡先に対して、当総領事館から安否確認等を行うことがあります。

また、災害により被害に遭ってしまった場合には、速やかに以下の総領事館連絡先までご連絡下さい。

開館時間中(平日8時～16時45分) : 031-503-0008

閉館時間中(夜間・休日) : 0800-1401934

当館メールアドレス : ryoji@sb.mofa.go.jp

当館は利用者が本手引きを用いて行う一切の行為について、何らの責任を負うものではありません。本資料に基づき行動より生じた損害につき、当館としては責任を負いかねますので御了承ください。